

對人信用を察け(下)

任
和
西
南
特
報

無競争當選

NOTÍCIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 8695
S. Paulo, Brazil
Proprietário e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas	
por Anno	15\$000
„ Semestre	8\$000
„ Mez	13\$000
„ Semana	\$500

秘露開發上甚だ肝要であると言ふて居るが、その一例として或る外國新聞記者に訊く語つた『或る北米人の鑑山で其使つてゐる▲士人労働者を清潔にしやうとして色々手段を講じたが彼等は何分入浴が嫌いで始末に至へぬ、支配人一策

事は殆んど皆無である上に今日の機会は凡て眼では見へない。智慧の眼力を具へなければ見付ければ事の出来ない程、機会が稀れな微妙なものに進化して居ると思はれるのであります。されば此機会を捉へるには先づ第一大の眼を以て機会を捉ふることに勉めよ。

▼▲ 東 南 北 ▲▼

中本製下目

ブラジル語
講習録出版豫告

實價は一部拾ミルレース外に送料(書留料共)一ミル
發送は不日出來次第着金順に依り送り出します
部數に限りありますから賣切れぬ内御注文を乞ふ

次販賣所 濱木商店
Y. SEGUI CAIXA POSTAL, 1771, S. PAULO

賣所
伯刺西律士報
NOTÍCIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H. S. PAUL

次販賣所 濱木商・庄
Y. SEGUI CAIXA POSTAL, 1771, S. PAULO.

賣 所 伯 葉 西 報 面
NOTÍCIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H. S. PAUL

ある。爰に於ては、農業者は一方に日本政府に訴へ、在伯邦人自作農業者の爲め保護機關を設けんとする。同時に、自作農業者に向つて利用組合の組織を懲悪せざるを得ないのである。斯く云ふと、自治心と信用思想とに乏しい我同胞の中には、借りた金も返済期日に返済し得ぬ様な者が、利用組合などを組織して見た所で、之を効果あらしむべく經營して行くことは不可能だ。云ふ人が有るかも知れぬが、是れ畢竟食はず嫌で、一旦創立められれば利用組合なるものも案外面白いものなることを理解し得るのである。

一體農家には資金が乏しいものの中にも、在伯邦人自作農業者程資

他から資金の借入れを爲すことが最も緊要なことで、殊に或る有力者が日本の政府及び實業家に説き、吾々

ば長足の進歩望み難いであるが、度利用組合が創立てて農村の信用高まるこせば、其處に比較的長期低利の資金を得るの途が開かれ、個人に借り得ない金も無限責任の組合を通じて容易に借り得ることになる。故に在伯邦人自作農業者の如く、将来益々有望なるも現在其基礎を築くに資本借入の途なくして苦しむつゝある者に取つては、先づ利用組合を起して相互の融通を計ると共に、更に此の機関を利用して銀行又は其

▲ 珍珠のプロバガンダ輔助は同様、日本に來りしに拘らず遂に之が實力を見るに至らざりき。又珍珠バウムは、龍氏に許與せしものなり。スタセ会上に對する

誰も知る如く、昔から西洋人の議會は前額に毛があつて後頭は秃げて居るから向つて來た時に捉へなければならぬ。一旦機會が去ると如何に追つ駆けても後頭が秃げて居る爲め捉へ様が無いものであると云つて居るが、實に面白い譬えであります。

併しながら老生の考へます所では昔の泰半無事の世の中ならば、前額に毛があつて後頭の秃げた機會と云ふものが到る所に在つて、或は機会の方から向つて來て呉れたかも知れぬが、現代生存競争の激甚なる世の中では機會を捉へる事の競争は段々烈しくなるに連れ、捉へられてしまふ機会の方も益々少なくなつた爲め、ませぬが、機會の方から向つて來て呉れる様な

NO INJAS DU BRASIL

CAIXA POSTAL, H. S. PAUL

取次販賣所 濱 木 商 庄

Y. SEGUI CANA POSTAL, 177. S. PAUL

り返しの付かぬ大失敗を爲たり、又思ふ人々は今日の機會は昔の
は一敗地に塗れたものが隨分ありは
せぬかと思ふのであります。

機會を捉へると云ふ事は上述の如く
に六ヶ敷いものである上に、今日の
日本は昔の日本とは全然異つて世
界共通でありますから、此方に智恵
の眼力を具へて居れば進んで世界中
の機會を見付けて捉へる事も出来る
代りに、此方が智恵の眼力を具へて
居なければ、日の前や脚下の機會も
ならぬのであります。

對人信用を案け（下）

金の缺乏に苦しんでゐる者ははない、之と云ふも此の地に發展して日尚ほ淺きが爲め、地代の拂込や開墾の費用に追はれるからでもあらうが、今一つは農業者就れも開墾の大比べで互ひに助け合ひ融通し合ふ餘裕がないからて、之を補ふには何うしても各地最寄りに團體を作つて、此の力で信用を高め、金の借入を爲して行くより外に途がないのである。而して其團體とは即ち前述の利用組合を指すもので、始めから餘り大仕掛けに爲さずとも各自幾分かの金を出合つて組合を組織し、先づ此の金を以て農家共通の必要な害蟲驅除薬を購ふとか、道路修築の費用に充てて行けば宜いので、斯くすれば土地の所有権さへ不確定な状態に在らずに融通するこかして、漸次拂込を増加すると共に、使用又は融通の途を擴げて行けば宜いので、斯くすれば假善請同様、家畜も珊瑚園も多くの如く、有價證券は有たず、家屋は假善請同様、家畜も珊瑚園も多くの如く、有價證券は有たず、家屋は假善請同様、家畜も珊瑚園も多くの所有せず、殊に農業に取つて大切なる土地の所有権さへ不確定な状態に在つては、結局無いものは提供出来ずと云ふ次第で、且此の程度の時代に於ける所は自然農村は信用を高め、共同の美は保證と云つても事實資格のある者が少ないのであるから、今の内何か之に代るべき他の方法を講せざれば、折角茅生へ仕出した邦人自作農業を坐所剥奪せしむるに至るや必せりで夫れに邦國の土地は地代よりも開墾費に多くを要するのであるから、最初の間は他より資金の融通を俟ね

NOTICIAS DO BRAZIL	
Publicado semanalmente	
Rua Fagundes N. 18	
Caixa Postal H	
Tele. Central, 5395	
S. Paulo, Brazil	
Proprietario e editor	
Seisaku Kuroishi	
Assignaturas	
por Anno	18\$000
Semestre	8\$000
Mez	13\$00
Semana	\$300
居るが、その一例として或る外國新聞記者に斯う語つた『或る北米人の鑑山で其使つてゐる	
▲士人労働者を清潔にしやうとして色々手段を講じたが彼等は何分入浴が嫌いで始末にをへぬ支配人一策シケイラ氏逝去の爲め補缺州上院議員の選舉は去二日聖州全部に亘り舉行せられたるが後補者は州共和黨推薦に係るカンチド、ロドリゲス氏のみにて全く無競争なりしに由り何等出来事なく同氏當選したり、カンチド、ロドリゲス氏は之れまで多年席を上院に有し州農務長官たる事二回、聯邦政府の農務長官たる事一回、本年五月まで州副総領たり	
▲日本との眞實の友人にして最初の日本移民聖州招來契約即ち州政府が二十年前フィオリタ商會に許與せるものなり、然れども日本民渡航補助條件は同氏が農務長官在職當時群議を排して決行した	
▲日本に於ける機会を觀る眼	
男爵 大倉喜八郎	
如何にして機會を捉へるかと云ふふ所も異なりませうが言ふ所も異なりませうが老生の考である。	

智恵の眼力を具へなければ見付け出されば此機會を捉へるには先づ第一に之れを見付け出す智恵の眼力を具へる事が必要である。此智恵の眼力がないと之れは絶好の機會であると思つて前髪を掻んだが爲めに却つて唇物の機會を捉へて取御待兼ねのブラジル語講習録の印刷が出来ました
本講習録は初學者獨習の唯二無の良書であります
本講習録は伯語に邦字を用ひて發音と譯さを附し特に會話の部には實用向きの語澤山に載せました
附録には日伯兩語の諸類、諸語書の雑形を網羅し又日伯兩語の藥名、使用及病名便覽を添へました
實價は一部拾ミルレース外に送料(書留料共)一ミル
發送は不日出來次第着金順に依り送り出します
部數に限りありますから賣切れの内御注文を乞ふ
發賣所 伯刺西爾時報社

◇今週の外電◆
國際法學者として有名なる東京大學教授エヒレ氏(?)は曰く、日本は其海軍計畫を完成するも必勝を豫期して水國と戰端を開くの危險を冒すものに非ず、日本が北米を征服するには非常に優勢なる艦隊を有せる可らず、而してこは日本の限りある財源を以てしては不可能の事に屬す、於茲日本の取るべき途は唯一つのみ即ち米國との戦争を避くる事なり、今は米國と戰ふ時に非ず吾人は先づ全力を盡して財源を鞏固なる關係を保證する如き解決を喜んで承認すべく又軍備制限問題其他に就いても北米との共同を誠意を以て希望するものなり、日本間には多くの疑懼誤解存在せるが其一部は移民問題に由來す、此等諸問題を兩者總てが満足する如く解決するは到底出來得べきものに非ず。

日本は軍國主義又は好戦熱を眞實とするに嫌ふ、吾人の唯一の希望は北米となる進歩を續ぐるに在り

支那側よりの報道に依れば日支間に協議經り、日本は四ヶ月以内に西伯利より軍隊を撤退しむる代り支那は日本に對し漁業、航海、鐵山探險等の諸権利を承認したりと

日本金貨流通問題
支那政府は日本が關東半島の通貨を日本貸を以てせんとするの決定に對し抗議を申込み、諸新聞紙は日本此決定を以て支那の主權を侵犯するものとして大に攻撃せりと北京電報は云へり

▲トロツキ一投獄
露過激派政府の首脳たるレニンは其

國際法學者として有名なる東京大學教授エヒレ氏(?)は曰く、日本は其海軍計畫を完成するも必勝を豫期して水國と戰端を開くの危險を冒すものに非ず、日本が北米を征服するには非常に優勢なる艦隊を有せる可らず、而してこは日本の限りある財源を以てしては不可能の事に屬す、於茲日本の取るべき途は唯一つのみ即ち米國との戦争を避くる事なり、今は米國と戰ふ時に非ず吾人は先づ全力を盡して財源を鞏固なる關係を保證する如き解決を喜んで承認すべく又軍備制限問題其他に就いても北米との共同を誠意を以て希望するものなり、日本間には多くの疑懼誤解存在せるが其一部は移民問題に由來す、此等諸問題を兩者總てが満足する如く解決するは到底出來得べきものに非ず。

日本は軍國主義又は好戦熱を眞實とするに嫌ふ、吾人の唯一の希望は北米となる進歩を續ぐるに在り

支那側よりの報道に依れば日支間に協議經り、日本は四ヶ月以内に西伯利より軍隊を撤退しむる代り支那は日本に對し漁業、航海、鐵山探險等の諸権利を承認したりと

日本金貨流通問題
支那政府は日本が關東半島の通貨を日本貸を以てせんとするの決定に對し抗議を申込み、諸新聞紙は日本此決定を以て支那の主權を侵犯するものとして大に攻撃せりと北京電報は云へり

▲トロツキ一投獄
露過激派政府の首脳たるレニンは其

△海軍制限問題
教授エヒレ氏(?)は曰く、

日本は其海軍計畫を完成するも必勝を豫期して水國と戰端を開くの危險を冒すものに非ず、日本が北米を征服するには非常に優勢なる艦隊を有せる可らず、而してこは日本の限りある財源を以てしては不可能の事に屬す、於茲日本の取るべき途は唯一つのみ即ち米國との戦争を避くる事なり、今は米國と戰ふ時に非ず吾人は先づ全力を盡して財源を鞏固なる關係を保證する如き解決を喜んで承認すべく又軍備制限問題其他に就いても北米との共同を誠意を以て希望するものなり、日本間には多くの疑懼誤解存在せるが其一部は移民問題に由來す、此等諸問題を兩者總てが満足する如く解決するは到底出來得べきものに非ず。

日本は軍國主義又は好戦熱を眞實とするに嫌ふ、吾人の唯一の希望は北米となる進歩を續ぐるに在り

支那側よりの報道に依れば日支間に協議經り、日本は四ヶ月以内に西伯利より軍隊を撤退しむる代り支那は日本に對し漁業、航海、鐵山探險等の諸権利を承認したりと

日本金貨流通問題
支那政府は日本が關東半島の通貨を日本貸を以てせんとするの決定に對し抗議を申込み、諸新聞紙は日本此決定を以て支那の主權を侵犯するものとして大に攻撃せりと北京電報は云へり

▲トロツキ一投獄
露過激派政府の首脳たるレニンは其

反対派なる國防委員トロツキー然して之より生ずる利息は一年約九百八十萬磅なり

△經濟欄◆
●驚くべき輸出入品

●獨逸品輸入増加
●價格の變動

●穀米

●收穫量

●耕作法の改良

●收支

●耕作法の改良

●伯刺西爾曠原の探險

米國 テコドル・ルーズベルト著

第八章

日本

北島 湖西子譯

後野營の火を圍みて語る所は此議論

にして、或人はこの川は急角度を以

て西方に變向し、ジーバラナ川の上

荷物運搬は極めて容易なりしも、カ

ノアの持連びは難事にして、殊に浸

水せる二艘の大カノアは重かりし爲

北進してマディラ川か或は東してタ

ラヨス川に注ぐと主張する所

の如きは、大佐は第二説に加擔せり余等

が、リラー、ケルミット氏等も手傳

ひをなせり、コックを除き病者の

外は皆その作業に服せり、深林を切

り開きたる道筋に、ニヤード毎に約

六尺長さの丸太百本を列べ、滑車と

轆轤とを以て七艘のカノアを陸揚せ

將た八百キロメートルなるやは勿論

カヌス川に落ち、後アマゾンに入る

地に紅く染め抜かれてゐました。

この十字は葡國領土旗どして、白

地に紅く染め抜かれてゐました。

ラジルの海へ入つた、カブラル將軍

一千五百年四月二十二日、初めてブ

ラジルの象徴となつてゐました。

この十字は葡國領土旗どして、白

地に紅く染め抜かれてゐました。

この十字は葡國領土旗どして、白

地に

吾人の待ちに待つた、藤崎商會主藤崎三郎助氏は六月廿二日に、横濱正金銀行取締役一宮鉢太郎氏一行は廿四日に無事リオ到着、前後來歓せらるゝと云ふことである。是まで日本よりの伯國視察者は百數十名に達する。雖も、是等の人多くは通り一遍の觀光客が然らざれば政府の役人に過ぎなかつたから、折角観たり視て費つたりしても、其結果は未だ一形に現はれざるを遺憾とする。

實行を待つ

然るに今回來伯の藤崎商會主・横濱正金銀行取締役は、等しく伯國に事業を經營し、加之ものが好成績を收めんと努力せらるゝと共に、日伯の親善、在伯邦人の利益増進を計るに熱心せらるゝが故に、今両者の來聖は其目的に於て從來の旅行者と其趣を異にするは勿論、視察の結果は必ず何かの形式に於て日伯經濟の聯絡をヨリ濃厚ならしむると同時に吾々を益するを期待する。

△ 當面の問題

卷之三

伯國於ける養蠶

◆マトグロス洗濯屋の誇りは斧の御蔭

◆サンバウロ旅館の景氣は高岡様の御蔭

◆サントスパカブンドの生活は平安名旅館の御蔭

◆ジユキア線の小使錢に困らないのはバタ・ドーチェの御蔭

◆レヂストロの野菜に困らないのはバルミツタの御蔭

◆ミナス米作者の轉地せぬのは借金の御蔭

◆サンクト日本豆屋の景氣は本船の御蔭

◆精米貿の下落したるはモンテチークロの御蔭

◆邦人漁業者の景氣は牛疫流行の御蔭

◆SSPR鐵道は日本人の御蔭

お陰かげくら

土地賣却

Heitor Liegrú は外人間に「名新日本」と稱せらるゝに至つて居る。

ロノロエスチを出てない極めて豊満な地盤である市街地向きの牧場によく果樹園によく小農業者に取つて此れ以上の好適地は他にないことを断言しても差支ない私共の志を同うして「ノロエスチ」に新日本を建設せんとする同胞諸君は一日も早く視察せられんことを望む

殖民事務所
Editor Legrú
inha Noreste

左記の處に支部及び取次所がありますから購読申込料金込、その他事の事をひいて便宜最寄の處へ御會を願ひます
◆モヂヤナ線コンキスタ騎
コンキスタ支部
◆ノロエース特線エイトル
エイトル支部
レグリ一驛上塙殖民地
◆同線ビリグイ驛ビリグイ
土地木材殖民會社
◆同線アルブケルケ、リンス
森部商店
リンス支部
リベロン・ブレト出張所
◆海外興業會社伯國支店
サントスマラルゴ、セテ、デ
セテンブロ一五番成功館
◆ソロカバナ線セルケラ
サントスマ支部
セザル驛
◆古謝將義
坂元靖
古庄常喜

社告

紅の小ぎれ (二)

(幼き頃の想出の一)

セルケーラザール等

松本高信

そうして一二町もすぎた頃ガクリと小石に躊躇いた加減で彼は下駄の鼻緒をフツフツと切つた。アレ!と思ははす聲を立てた彼は下駄を手に吊し懷の中を索したが相憎小布も紺も用意がなかつた。

困つたといふ顔つきでそこらを

見まわしてゐた、この出来事を黙つて立つて見てゐたトハちゃんは断つて秋の中から細長い布を出して。

あげませうか

と差出した、彼は頗る周章つた。

「有難う」とも言はずに、懶ふ様にそれを受取るさせつて鼻緒を立て始めたがグルグルとかき立てられて湯気退つた甘酒の如になつて彼の頭は冷静を失ふて四指の動作へ正確に命令し得なかつた。そうして幾度も緒がうまくすがらなかつた。

紅の小布が痛いほど彼の眼を刺するのを覺えた。

トハちゃんはたて終ると手に力を入れてグット引張つて見て、丈夫夫!

にいつて彼がうめいたが其の時は膝の上にあつて十本の細い指が器具の足許にさし出した。

静かに眠りから覺めてゆく初春の山は屏風の様にならび、頬て來春を待つ野飼の牛がモウモウしない清い風に、今度は腰から手ぬぐひをさつて下駄の表を奇麗にふいて彼の足許にさし出した。

静かに眠りから覺めてゆく初春の山は屏風の様にならび、頬て來春を待つ野飼の牛がモウモウしない清い風に、今度は腰から手ぬぐひをさつて下駄の表を奇麗にふいて彼の足許にさし出した。

トハちゃんが彼を見上げた眼には不似合な紅の鼻緒が老舗長の家の上端に並べられてあつた時恐ろしい葉の意味が痛切に響いた、それだけ

耻しい心が又わきかへつた。

そして彼は自分の家に歸ると堪へられない様な氣分になつて彼の母によつて麻の緒とかへられた、臺所に捨られた紅の小布はけれどもどうし

ても彼から裏の間へ棄られなかつた

毎々に鍼を入れ丁寧に鍼をして

頃父から素讀を教へられた日本外史の中にさまれてしまつた。

そして彼は其の年の中に中學に入學して故郷を去りトハちゃんの事も紅の墓は頬白の巣の縁まで這ひつきました。

のばつたら、あの巣まで行けるかもしないよ」といひますと、元氣を

欲するも爲すべきなく、徒らに勃々たる雄心を抱きて之を新潟縣の舊友某氏に寄せるものなり

して今回右某氏より社主の許に送り越したるも

のなり、然ちに爾來日伯の關係は實に其の觀を改め、同胞移民の數も三萬餘に達し本邦の船も六七を下らず特に日章旗を懸へ本邦の汽船は殆ど毎月佐リオ、サンクトスに出入する今日、國らも復た當國に公使として來任する

ので、可哀さうなびつこの子供は、かねての望みが芽出度く届き、たゞ一日三日、四日五日と根氣よく上るうちにたゞどう望みがかなつて、朝の墓は頬白の巣の縁まで這ひつきました。

そして次きの朝、その巣の縁で勉強する四疊半の部屋に運ばれ御神の札にでも觸る様な心を抱き乍らの間に鍼を入れ丁寧に鍼をして

頃父から素讀を教へられた日本外史の中にさまれてしまつた。

そして彼は其の年の中に中學に入學して故郷を去りトハちゃんの事も紅の墓は頬白の巣の縁まで這ひつきました。

日本駐在の巴奈馬領事が歴史新日本及舊日本の著述

▲西牙語で書き更に外に日本語にも譯す

●英文で書き更に外に日本語にも譯す

●獨人の特許権を處分し

●火薬をも製造するべく各種工業に大關係があるから

●何千萬圓の價値があるが唯だ工場設備に莫大な費用を要する關係上

●斯く安價に買取られたいふ、聞け

●何千萬圓の價値があるが唯だ工

●火薬をも製造するべく各種工業に大

山縣公入京

山縣公は久し振り小田原古稀庵を出

山縣公入京

